



介護あんしん 相談員だより

第45号 令和2年3月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見え気づいたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(令和元年12月・令和2年1月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：今日のお誕生会には、外部からの訪問の方が多いですね。
施設：誕生日の方がいらっしゃる月には、月1回誕生会をしています。
今日の誕生会では、慰問の演奏会で盛り上げて頂きました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



慰問は月に5～6団体の方々に来ていただいているそうです。

他にもサポーターの方達が週1回来られ、介護予防の体操を利用者様にあうようにアレンジして実施されているそうです。どうしても職員だけではマンネリ化してしまう部分を、外部の方々に助けていただいているということでした。

施設でサポーターの受入をしていただき、ありがとうございます。施設から外へ出たお散歩やドライブもとても楽しいことだと思いますが、外部からのお手伝いに来ていただける環境作りをすることも、同じようにスタッフや利用者様のために大事なことだと思います。



～利用者様の声より～

利用者：バルコニーで食べた焼き芋が美味しかったよ。
施設：ケア向上部隊のレクの取り組みの一貫で、多くのご利用者様にも喜んでいただけて安心しました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



ケア向上部隊というネーミングにとっても興味がわきました。ケア向上部隊の提案で、季節感を感じていただけるように夏にはそうめん流し、冬には焼き芋をされたそうです。バルコニーという、いつもと違った環境で食べたことでワクワク感も増したのでしょうか。

また、今回初めての試みだそうです。12月にはゆず湯週間としてゆず湯を実施され、ゆずを丸ごとお湯に浮かべ、ゆずの皮は袋に入れて香りを楽しんでいただけたそうです。

利用者さまは冬場の寒い時期はなかなか外出する機会も減ってしまいますが、焼き芋やお風呂にゆずを浮かべて楽しんでいる様子が目にうかぶようですね。



利用者：ベッドの上では足上げ、腹筋を毎日しています。
施設：リハビリは午前も午後も自分で意欲的に取り組んでおられ、日課になっています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



90歳近い方ですが、自転車こぎも午前・午後600回されているそうで、ご自身の体力維持に取り組まれているお姿には驚かされます。また、毎週行われているカラオケもとても楽しみにされていて、歌詞も全部覚えられて上手に歌われているそうです。

施設を自分の家として、自分なりに楽しみをみつけ、上手な生活リズムをつくり人生楽しまれていますね。これからもご無理をされずに、体調の優れない時には休憩も取っていただきますようお願いいたします。

また、こちらの施設には元バスガイドさんをされていたスタッフがいらっしゃるそうで、とてもお上手な歌を利用者様はとても楽しみにされているそうです。機会がありましたら、ぜひ聴かせていただきたいです。

鳥栖広域 相談員だより

検索



鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。ご利用ください。